

## 『第三の波』

アルビン・トフラー（著）  
鈴木健次ほか（訳）

日本放送出版協会, 1980  
配置場所：書庫 西館4階  
請求記号：301.2||TO 19

## 私のすすめるこの1冊

富永 吉喜（教職キャリア高度化センター 教授）

### 『第三の波』

アルビン・トフラー（著）

折々に自らの在り方や考え方を方向付けてくれる本に出合うものです。それは中学生のボクにとっては「あすなる物語」（井上靖著）、高校生のボクにとっては、「洪水はわが魂に及び」（大江健三郎著）、大学生の時には「國語學言論續篇」（時枝誠記著）でありました。てなふうに戻っていると次から次へと思ひ浮かんできて収拾がつかなくなってしまう。「エイヤッ！」とボクが教員になったころに読んだアルビン・トフラーの「第三の波」（1980年）を「私のすすめるこの1冊」とすることにします。

ボクが教師になったのは1985年。21世紀を前に控え、教育の世界では臨時教育審議会が国際化や情報化などへの対応を議論していたころでした。だからというわけではないのですが、当時未来予想として評判になっていたアルビン・トフラーの「第三の波」を、「未来学者」などという肩書にいささかいかかわりを感じつつも、手に取って見たのでした。

トフラー曰く、第一の波は農業化社会、第二の波は工業化社会、そして今第三の波が盛り上がりつつあり、それはコンピュータの進化による情報革命であり、情報化の社会が押し寄せる、というわけです。そして第三の波は、かつての波がそうであったように政治や文化をはじめ生活の隅々を浸し、過去を流し尽くし脱工業化の社会が訪れる、というわけです。何のこともワカランと思われでしょう、今流行りのSociety5.0みたいなものです。

ただし、Society5.0は、第一の波を狩猟社会とします

から、トフラーの言う第三の波はSociety4.0にずれることとなります。

少しトフラーの説に触れると、第三の波の社会では生産と消費の関係性も変わり、それを「プロシューマー」（何のことは本を読んでください。）という語を造ってそれを体現する人間像を描きます。数年前に3Dプリンターが出現した時、製造業においてもホンマにそうなるんやと感心したものでした。

また、トフラーは「時間を正確に守らなければ労働能率が落ちるといふことはなくなる。」なんてことも書いてます。「遠隔」が当たり前になれば、工業社会が生み出した時間厳守の文化も今後大きく変化、「遅刻指導」なんてこともどうなっていくのでしょうか。

で、「第三の波」から得たことは、人類史を鳥瞰的に眺める視点を得たこと、そのことで現実に没入することなく距離をおいて見る視点を得たこと、未来に向けたパースペクティブを得たこと、というようなところでしょうか。

さて、学校の先生に「あすなる」うとしている皆さん、自身の先生人生を方向付ける一冊は見つかりましたか？今、私たちは様々な手段で情報を得、自らの糧とすることができるようになりました。なかでも読書は情報を得ることと自らの思考とが連動する行為です。ぜひ多くの本を読み、人にもススメられる大切な一冊を見つけてください。

## 支援員からみなさんへ

### 古谷朋也 理科教育専修 M2

私は、理科教育研究室の村上忠幸先生のゼミに所属し、探究学習における省察(振り返り)について研究しています。子どもの主体的な学びをサポートし、子どもが自らの経験から深く学んでいけるような授業実践を考えています。図書館の学修支援では、主に理科の授業や学習指導案の作成、教員採用試験のアドバイスでお力になれると思います。特に私は、小学校、中学校、高等学校での実習の経験があり、授業づくりの具体的なアドバイスができると思います。教員採用試験のについて知りたいことや分からないことがあれば、ぜひ相談しに来てください。お待ちしております！



↑ 探究学習で用いるアゲハチョウの幼虫です。今年もいっぱい育てます。興味のある人は図書館2階へ足を運んでみてください。

お待ちしております！

## 学修相談カウンター

理数系の院生がいろいろな質問に対応してくれます。勉強や就職のこと、先輩に相談してみませんか？

詳細はホームページやポスターで！



### 石川 典 理科教育専修 M2

私は、大学院で理科教育研究室の村上忠幸先生の御指導のもと、自然環境・エネルギー・探究学習をテーマにした教材を開発・実践を目指す研究をしています。特にみなさまへは、私自身、来年から理科の教員として勤務する予定なので専門の理科、教採のこと、授業づくりについてや、私は昨年3月まで他大学の工学部に在籍し、昨年4月から本学大学院に進学した経験があるので、本学大学院を含めた大学院進学に興味がある方へのアドバイスもできるかと思っています。上記のこと以外でも、少しでもみなさまのお力になればと思っていますので、ぜひお気軽に相談に来てください！

→研究では、自然物を燃焼し、発電もできるこの機械を活かして進めたいと思っています。



ぜひ、参加してくださいね！

## リクエストと投票で話題の本を読もう！

学習研究以外のリクエスト本や話題の本を一定期間掲示し、皆さんの投票で購入する本を決定する企画をしています！

学生・教職員のみなさまからのリクエストをお待ちしています。どんどん参加してください！リクエストは随時受付中です。

6月の投票期間は  
**6月2日(水)～6月17日(木)**

※結果によっては購入できないこともあります。  
※学習研究目的のものは原則として購入していません。

## Webブックハンティングを開催します！

学生の皆さんが、書店のホームページから「図書館においてほしい本」を選べる企画です。

【対象】学部生、院生（特別専攻科を含む）

【募集人数】10名程度

【募集期間】6月2日(水)～6月11日(金)

【選書期間】6月後半を予定

申込先や条件など、詳細は図書館ホームページやポスター等をご確認ください。  
皆さまのご応募をお待ちしています！



京都教育大学  
それはかなう夢講座

「先生になりたい - それはかなう夢」は、京都教育大学のシンボルフレーズです。「それはかなう夢講座」では、本学の教職員が、学部、大学院のすべての専攻、研究科の学生や教職員の皆さんを対象に、科学の魅力をわかりやすくお伝えしていきます。特に、小学校の先生になりたいと思っている学生の皆さんのご参加をお待ちしています。

第26回の報告

YouTubeで公開されました。※現在も視聴できますのでどうぞ！

<https://www.youtube.com/watch?v=8Ss7U1JjMM8>

【講師】榎下 達也（音楽科 准教授）

【テーマ】なぜ小学校では楽器を習うのか？  
— 歴史から紐解く音楽教育の謎 —

主催：「現代的ニーズを踏まえた「理系」教員養成のためのカリキュラム開発」プロジェクト委員会  
後援：京都教育大学同窓会・京都教育大学附属図書館

附属図書館の開館について

遠隔授業と対面授業を交えた授業形態であることを考慮し、附属図書館は平日および土曜日を開館しております。利用にあたっては新型コロナウイルス感染症の予防に十分ご留意いただきご利用ください。なお、今後とも状況により、開館日時が変更になる場合があります。変更が生じた場合は、附属図書館ホームページ等にてお知らせいたします。



郵送貸出のお知らせ

遠隔授業の支援サービスとして郵送貸出を実施します。申込方法など詳細は附属図書館ホームページをご覧ください。

児童書コーナー（南館1階）



今月の絵本カード  
（学生作）

『そらまめくんとめだかのこ』  
作：なかや みわ  
出版社：福音館書店

※児童書コーナーにかわいいカードが飾られていますので、ぜひ見に来てください。

学生による絵本のよみきかせ  
★しばらくお休みです



1階渡り廊下リフォームしました

1階渡り廊下の検索用端末机を白い机に、展示用机を黄色い机に入れ替え、リフォームしました。スリムになった検索スペースと拡大した展示スペースを今後ともご利用ください。



南館1階、2階の資料の配置場所を変更しました

【1階】

- 軽読書コーナーに新潮文庫（SH-1, SH-2）が加わりました。
- 京都コーナー、斉藤文庫、児童書コーナーの並び順が変わりました。

【2階】

- 新潮文庫（文庫 SH-1, SH-2）を軽読書コーナーに移動しました。
- 文庫（東洋文庫・岩波文庫等シリーズ順）と、新書（分野別）の並びを入れ替えました。
- 「コレクションの森」を解体し、開架図書に混配しました。

「コレクションの森」コーナーの解体と資料の移動について

「エネルギーコレクション」「ライフスキルコレクション」のコーナーは、設置から一定年数が経過し、書架の効率的な運用を検討した結果、解体して移動することとなりました。移動後は、開架や大型図書等それぞれの配置場所に配架されますので、引き続きご利用ください。

教育資料館 まなびの森ミュージアム

【6月の開館日時】  
7日（月）、14日（月）、21日（月）、28日（月）  
14：00～17：00

今月の逸品  
（6・7月）  
「草木乾膳法」  
展示場所：図書館



教育資料館 まなびの森ミュージアム  
<https://www.kyokyo-u.ac.jp/museum/>

## 論のくちび理のむすび

今回の執筆者 **深沢 太香子** (家政科 准教授)

### 日本人若年男性における温熱的快適性評価

深沢 太香子

京都教育大学紀要 2021, No. 138, pp. 105-113

近畿地方は、例年よりも21日早く梅雨入りしたと発表されました。これからしばらくの間、蒸し暑さと上手にお付き合いしなければなりません。この蒸し暑さとは、温度(熱)と水分に対する感覚です。温度は皮膚に存在する温度受容器で感知されます。水分を感知する受容器は発見されていますが、おそらく温度受容器が関与していると考えられています。

私たちが蒸し暑さを感じる時は、温熱的に不快な状態にあります。このような温熱的な不快感は、注意力の低下を招くばかりでなく、知的生産性も低下させてしまうことがわかってきました。そこで、国際標準化機構 (ISO) では、生産性と安全性を考慮して、作業環境に関する基準値を設定しています。ところが、この基準値が合わない場合もあることが指摘されています。それは、暑さや寒さに対する生理的な反応や温熱的な感覚が、人種によって異なるためです。この論文では、後者の温熱的な感覚の人種による差異について、日本人と白人を対象にして検討しました。その結果、日本人の温熱的な感覚は、白人と比較して敏感であること、そして、日本人は白人よりも温熱的な不快感を覚えやすいことが示唆されました。これは、日本人の体表面積が白人よりも小さいゆえ、温度受容器の体表中密度は、日本人の方が白人よりも高いことが一理由として考えられます。

私たち日本人は温熱的な感覚が敏感ですから、集中して高い学習効果を得るために、空調を上手に活用したり、衣服によって微調整したりして、自分自身の周りの温熱的な環境を整えたいですね。

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要 138号に掲載されています。

※京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUER)の森」<https://ir.kyokyo-u.ac.jp/> に掲載されています。

開館日程 □9:00-21:00 ■9:00-17:00 ■休館(CLOSED)

2021年6月							2021年7月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5					1	2	3
6	7	8	9	10	11	12	4	5	6	7	8	9	10
13	14	15	16	17	18	19	11	12	13	14	15	16	17
20	21	22	23	24	25	26	18	19	20	21	22	23	24
27	28	29	30				25	26	27	28	29	30	31

6/1 創立記念日

7/7 館内整理日

※開館日程につきましては、変更となる場合がございますのでホームページをご確認ください。

●京都教育大学附属図書館ホームページ  
<https://www.kyokyo-u.ac.jp/library/>



●携帯版 OPAC (QRコード)   
<https://tosh2.kyokyo-u.ac.jp/webopac/mobtopmnu.do>

京教図書館 News No.249 (2021年6月号)  
発行日:2021年6月1日  
編集発行:京都教育大学附属図書館  
問い合わせ先:library@kyokyo-u.ac.jp

国立大学法人  
**京都教育大学**  
KYOTO UNIVERSITY OF EDUCATION